

令和4年度

事業計画書

公益財団法人たましん地域文化財団

## I. 令和4年度 事業計画の概要

公益財団法人たましん地域文化財団は、設立時の基本理念を念頭に、美術・歴史の文化振興に努め、多摩地域の人々の新しい価値の創造とともに豊かな生活と活力ある地域の文化形成に寄与することを使命として、令和4年度の事業の計画・実施を行います。

令和4年度は、ここ数年間整備してきたインフラを有効活用し、自治体、各機関との連携を更に深め、美術・歴史を通じて、地域社会の発展と人々の豊かな生活の形成に貢献していく事業展開を行います。

公1(美術館・ギャラリーの運営事業)については、「たましん美術館」(立川市)をメインの館として企画展を3会期開催予定です。第1会期の立川市との共催企画展では、「まち全体が美術館」構想のもとに街づくりをしてきた立川の魅力を、美術館から発信していきます。第2、第3会期の企画展においては、多摩の作家所蔵作品による展覧会を実施致します。「たましん歴史・美術館」(国立市)では、たましんコレクションを中心に、テーマをしぼった作品を選定し、展示します。また、各展覧会においてトークイベントを実施し、作家、作品の魅力を深めていきます。併せて、たましん美術館周辺施設、学校との連携を図り、広く美術の楽しさを知っていただくためのイベントを開催します。

公2(『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業)は、例年通りの事業が中心ですが、広く財団の事業を知ってもらうためにホームページやデジタルアーカイブの活用、またコロナ対応で必要が生じた歴史講座のオンライン配信など、本年度につきましても継続してデジタル化に取り組みます。また、地域の市史編さん等への協力を通じての各施設との連携、各図書館との資料検索システムの横断的検索を目指すことにより、地域とのネットワークの強化を図っていきます。

令和2、3年度は新型コロナ禍の長期化により事業展開に困難が生じましたが、今年度についてもその状況が完全に解消されるという状況にはならないと想定しています。令和2、3年度の経験を活かし、そのような環境下にあっても、当財団の持つコンテンツを提供し、多くの方に喜んでもらえるよう事業を実施してまいります。

## II. 公益目的事業の事業計画概要

当財団の公益目的事業は主に以下の事業、およびそれに付随する事業です。

公1. 美術館・ギャラリーの運営事業(以下「美術」という。)

公2. 『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業(以下「歴史」という。)

### 1. 美術(公1)

#### (1) 企画展覧会

##### ① たましん美術館

たましん美術館は、今年度3会期の企画美術展を開催します。

1) 「立川市×たましん美術館 一ひと、まち、アートー」

令和4年4月9日～7月24日(92日間)

立川市との共催企画展。立川市所蔵美術作品と、たましんコレクションの美術

作品をあわせて展示する。「まち全体が美術館」構想のもとに街づくりをしてきた立川の魅力を、美術館から発信する。

2) 「没後 30 年 松村健三郎展」

令和 4 年 8 月 6 日 ～ 11 月 20 日 (88 日間)

大正時代に新進気鋭の画家として注目されながらも、画壇から距離を置き、50 代以降は国立市で創作を続けた松村健三郎の、没後 30 年を記念して行う回顧展。

3) 「新収蔵 小貫政之助展」

令和 4 年 12 月 3 日 ～ 令和 5 年 3 月 26 日 (89 日間)

戦争という過酷な経験とともに、激動の昭和を生き抜いた画家小貫政之助に焦点を当てた展覧会。作家に縁のある方々からご寄贈いただいた作品を並べ、初期から晩年にいたるまでの生涯を振り返る。

② たましん歴史・美術館

たましんコレクションによる常設展を 3 会期、開催します。各期、テーマを設定し、そのテーマに対応する作品を展示します。

1) 第 1 会期 令和 4 年 4 月 16 日 ～ 7 月 10 日

2) 第 2 会期 令和 4 年 7 月 23 日 ～ 11 月 6 日

3) 第 3 会期 令和 4 年 11 月 19 日 ～ 3 月 26 日

③ たましん本店 2 階「地域貢献スペース」ギャラリーの運営

たましん本店 2 階ギャラリーの展示計画、作家選定、展示作業の監督を行います。本件は多摩信用金庫からの委託事業です。

(2) 調査・研究・収集・保存

① 所蔵作品の調査・研究

所蔵作品の詳細な調査を進め、そこで得た知見を展覧会に反映する。

② たましん美術館年報・紀要の発行

たましん美術館の活動の記録及び所蔵作品・作家についての継続的な研究成果を年報・紀要にまとめ、今後毎年 1 冊のペースで刊行していく。

③ 収蔵庫の環境改善

経年の汚れが蓄積し、カビの発生が確認されている武蔵野収蔵庫の環境改善を行う。専門業者による除塵防黴施工を行うと同時に、カビの被害を受けている美術品のクリーニングを行う。

④ 資料・図書収集、整備

多摩地域に関わる重要な作家の資料や地域における美術に関する図書等を引き続き収集する。また、整理作業を定期的に行い、配架します。

(3) 美術講座・美術教育

① たましん美術館での各展覧会におけるギャラリートーク

展覧会担当学芸員が展覧会主旨や見どころ、作品解説をするギャラリートークを行う。

## ② トークイベント、体験型イベント

### 1)アーティストトーク

「立川市共催展」会期中に、出品作家を招き、制作にまつわるトークイベントを行う。

### 2)「松村健三郎」展スライドトーク

「松村健三郎」展会期中に、他館学芸員を招き、作者の魅力に迫るトークイベントを行う。

### 3)「小貫政之助」展スライドトーク

「小貫政之助」展会期中に、作家小貫政之助の生涯や画風の展開、画家としての魅力について、スライドを用いて、展覧会担当学芸員がトークイベントを行う。

## ③ 美術講演会

くにたちギャラリーネットワーク、(公財)くにたち文化・スポーツ振興財団との共催事業として美術講演会を行います。昨年度は新型コロナの影響で本講座を開催できなかったことから、今年度も同じテーマで、「古代ギリシャの美術と文化」についての3回講座を予定しています。

第1回 「エーゲ海文明の曙」

第2回 「アルカイック時代とオリンピック」

第3回 「クラシック時代とヘレニズム時代」

(使用会場が新型コロナウイルス感染症予防対応に使用予定のため、開催時期未定)

講師 斎藤陽一氏

(美術ジャーナリスト、元NHK「日曜美術館」プロデューサー)

会場 くにたち市民芸術小ホール

募集人員 毎回 60 名(延べ 180 名) 受講料 無料

## (4) 連携

### ① 学校との連携

#### 1)地域の学校との連携

立川市内の市立中学校全校の1年生全員が「たましん美術館」を見学します。本件は立川市教育委員会との連携事業で、作品鑑賞や美術館でのマナー等を指導します。また、地域の美術大学等との人的交流を図ることにより、将来的な連携企画等へ繋げていきます。

### ② たましん美術館周辺地区との連携

たましん美術館の周辺地区の施設(グリーンスプリングス、ファーレアート、立川市)の交流を図り、様々な連携企画を行っていく。

## (5) 広報・普及活動

### ① 広報活動の実施と広報活動手段の拡充

当財団及び美術館案内等のホームページへの展覧会情報公開を継続して行います。来館促進を図るため、ポスター・案内はがき・チラシ等の送付、ケーブルテレビ及び新聞社や地域雑誌などの地域向けメディアへの情報提供を積極的行いま

す。また、多摩信用金庫に設置されているデジタルサイネージ、インフォメーションテレビ、および職員向けの社内ニュースにおける展覧会の案内を実施していきます。

## ② 展覧会スケジュールの発行

次年度のたましん美術館展覧会スケジュールを発行する。

## 2. 歴史(公2)

### (1) 『多摩のあゆみ』の刊行

下記の通り、各号ごとに特集テーマを予定しています。

186号「疫病退散」(仮題)	令和4年5月31日発行
187号「武蔵・相模の人形芝居」(仮題)	令和4年8月31日発行
188号「多摩の社寺建築」(仮題)	令和4年11月30日発行
189号「多摩の動物園」(仮題)	令和5年2月28日発行

### (2) 歴史資料室の運営

多摩地域の歴史・文化に関する図書、雑誌、地図、絵葉書、写真、チラシ等を収集・公開します。それぞれの分類表に基づいて整理し、新たに入手した図書と雑誌は歴史資料室の新作コーナーに展示するとともに、『多摩のあゆみ』の「入手資料のごあんない」欄に書誌情報を掲載します。また、当財団のホームページでも資料の検索ができます。

### (3) 多摩の歴史講座

(公財)東京市町村自治調査会多摩交流センターとの共催事業で、5回の連続講座を実施します。会場は多摩信用金庫府中支店4階会議室を借用し、100名を募集します。ただし、新型コロナウイルス感染の状況によっては、定員数を減らします。受講料は無料です。

また、上記の歴史講座を記録・編集して、インターネットを用いてオンライン配信を検討します。ホームページで受講者を募集して、名簿を作成し、期間は限定します。

### (4) 地域とのネットワーク強化

国文学研究資料館(立川市)をはじめ、東京都立多摩図書館、東京都公文書館(ともに国分寺市)等との連携を更に深め、また市史編さん等への協力を通じて各市町村とのネットワークを強化していきます。

また、NPO法人共同保存図書館・多摩(多摩デポ)と連携・協力して、当財団ホームページ資料検索システムの書誌情報を多摩デポ統合検索に組み込んで、都立図書館や市区町立図書館などと横断して検索できるようになることを目指します。

### (5) 「多摩の金融史」関係資料の整理

『多摩のあゆみ』への「多摩の金融史」の連載は計19回となりました。

コロナ禍で一時中断していた武蔵野支店地下倉庫に保管されている金庫資料(旧多摩中央信用金庫、旧太平信用金庫、旧八王子信用金庫)の調査・撮影・分析を進めています。

### (6) 広報・普及活動

① 『多摩のあゆみ』発刊、「多摩の歴史講座」開催等告知

『多摩のあゆみ』と歴史資料室の情報を当財団のホームページにおいて公開します。「多摩の歴史講座」はホームページと『多摩のあゆみ』及び、共催先の(公財)東京市町村自治調査会ホームページと機関誌『ぐるり 39～自治調査会だより～』に告知します。

② 歴史資料室所蔵資料のデジタルアーカイブ化

『多摩のあゆみ』に連載中の「赤色立体地図」中の地図画像などを、デジタルアーカイブで公開していきます。

### Ⅲ. 収益事業

#### 1. 物品販売事業 (収1)

##### (1) 物品販売事業

たましん美術館に併設のミュージアムショップでは、オリジナルの絵はがきなどの販売のほか、財団発行の書籍を販売します。また、地域の作家の陶器、染物や地域企業のグッズ、各種雑貨等の委託販売を行います。

### Ⅳ. 管理

#### 1. 役員及び役員会等に関する事業(定款第4条第9号)

##### (1) 理事、監事及び評議員の任期

- ① 評議員 令和2年6月22日から就任後4年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
- ② 理事 令和2年6月22日から就任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで(改選期)
- ③ 監事 令和2年6月22日から就任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで(改選期)

##### (2) 理事会等の開催

- ① 理事会 年3回
- ② 評議員会 年2回
- ③ 決算監査 年1回

事業計画の内訳

公益目的事業

1. 美術館・ギャラリーの運営事業(公1)

(定款 第4条 第1項 第1号、第2号、第3号、第4号、第5号、第7号、第8号、第9号)

(予算額 7,367千円)

(1)企画展覧会

①たましん美術館

計画事業 通し番号	計 画				開催 日数	計 画 事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事 業 名	自主・共催	実施期間				
1	立川市共催展 「立川市×たましん美術館 ーひと、まち、アートー」	自主	2022年4月9日(土) ～7月24日(日)		92	立川市との共催企画展。立川市所蔵美術作品と、たましんコレクションの美術作品をあわせて展示する。「まち全体が美術館」構想のもとに街づくりをしてきた立川の魅力を、美術館から発信する。	634
2	没後30年 松村健三郎展	自主	2022年8月6日(土) ～11月20日(日)		88	大正時代に新進気鋭の画家として注目されながらも、画壇から距離を置き、50代以降は国立市で創作を続けた松村健三郎の、没後30年を記念して行う回顧展。	1,060
3	新収蔵 小貫政之助展	自主	2022年12月3日(土) ～2023年3月26日(日)		89	戦争という過酷な経験とともに、激動の昭和を生き抜いた画家小貫政之助に焦点を当てた展覧会。作家に縁のある方々からご寄贈いただいた作品を並べ、初期から晩年にいたるまでの生涯を振り返る。	2,993

②たましん歴史・美術館

計画事業 通し番号	計 画				開催 日数	計 画 事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事 業 名	自主・共催	実施期間				
1	たましんコレクション展1	自主	2022年4月16日(土) ～7月10日(日)		66	多摩信用金庫およびたましん地域文化財団の所蔵品の中から、テーマをしばった作品を選定し、展示する。	395
2	たましんコレクション展2	自主	2022年7月23日(土) ～11月6日(日)		85	多摩信用金庫およびたましん地域文化財団の所蔵品の中から、テーマをしばった作品を選定し、展示する。	265
3	たましんコレクション展3	自主	2022年11月19日(土) ～2023年3月12日(日)		86	多摩信用金庫およびたましん地域文化財団の所蔵品の中から、テーマをしばった作品を選定し、展示する。	265

③たましん本店2階ギャラリー

計画事業 通し番号	計 画				会期	計 画 事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事 業 名	自主・共催	実施期間				
1	たましん本店2階ギャラリー運営	自主	通年		7	たましん本店2階ギャラリー(地域貢献スペース)の展示計画、作家の選定、展示・撤収作業の監督を財団学芸員が行う。	330

## (2)調査・研究・収集・保存

計画事業 通し番号	計 画		計 画	予算額 (千円)
	事業名	実施期間		
1	所蔵作品の調査・研究	通年	所蔵作品の詳細な調査を進め、そこで得た知見を展覧会に反映する。	350
1	たましん美術館年報・紀要の発行		たましん美術館の活動の記録および所蔵作品・作家についての継続的な研究成果を年報・紀要にまとめ、今後毎年2冊のペースで刊行していく。	280
2	収蔵庫の環境改善		経年の汚れが蓄積し、カビの発生が確認されている武蔵野収蔵庫の環境改善を行う。専門業者による除塵防霉施工を行うと同時に、カビの被害を受けている美術品のクリーニングを行う。	460
3	資料・図書の収集		多摩地域の重要な作家の資料、多摩地域の美術に関する図書等を引続き収集する。	150

## (3)美術講座・美術教育

## ① ギャラリートーク

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	たましん美術館での各展覧会におけるギャラリートーク	自主	日時未定	展覧会担当学芸員が展覧会趣旨や見どころ、作品解説をするギャラリートークを行う。	0

## ②トークイベント、体験型イベント

1	アーティストトーク	自主	日時未定	立川市共催展「立川市×たましん美術館 一ひと、まち、アート」会期中に、出品作家を招き、制作にまつわるトークイベントを行う。	5
2	「松村健三郎」展スライドトーク	自主	日時未定	「松村健三郎」展会期中に、他館学芸員を招き、作者の魅力に迫るトークイベントを行う。	10
3	「小貫政之助」展スライドトーク	自主	日時未定	「小貫政之助」展会期中に、作家小貫政之助の生涯や画風の展開、画家としての魅力について、作品スライドを用いて、展覧会担当学芸員がトークイベントを行う。	0

## ③美術講演会

1	美術講演会	共催	日時未定	くにたちギャラリーネットワーク、(公財)くにたち文化・スポーツ振興財団との共催事業として美術講演会を行う。地域の方々に美術に関する知識を深めてもらうことを目的として全3回の講演を予定。 講師 斎藤 陽一氏(美術ジャーナリスト、元NHK「日曜美術館プロデューサー」) 会場 くにたち市民芸術小ホール 募集人数 毎回60名(延べ180名) 受講料 無料	100
---	-------	----	------	---	-----



## (4)連携

## ① 学校との連携

計画事業 通し番号	計 画			予 算 額 (千円)
	事 業 名	自主・共催	実施期間	
1	地域の学校との連携	自主	通年	立川市の市立中学校の全校を対象に、たましん美術館において鑑賞教室を行う。 地域の美術大学等との人的交流を図ることにより、将来的な連携企画等へ繋げていく。

## ② たましん美術館周辺地区との連携

計画事業 通し番号	計 画			予 算 額 (千円)
	事 業 名	自主・共催	実施期間	
1	グリーンスプリングスとの連携	自主	通年	たましん美術館の周辺地区の施設との交流を図り、様々な連携企画を行っていく。
2	ファーレアートとの連携			
3	立川市との連携			

## (5)広報・普及活動

計画事業 通し番号	計 画			予 算 額 (千円)
	事 業 名	自主・共催	実施期間	
1	広報活動の実施と広報手段の拡充	自主	通年	当財団及び美術館案内等のホームページへの展覧会情報公開を継続して行う。来館促進を図るため、ポスター・案内はがき・チラシ等の送付、ケーブルテレビ及び新聞社や地域雑誌などの地域向けメディアへの情報提供を積極的に行う。また、多摩信用金庫に設置されているデジタルサイネージ、インフォメーションテレビ、および職員向けの社内ニュースにおける展覧会の案内を実施していきます。
2	展覧会スケジュールの発行	自主	通年	次年度のたましん美術館展覧会スケジュールを発行する。

2.『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業(公2)

(定款 第4条 第1項 第2号、第3号、第4号、第5号、第7号、第8号、第9号)

(予算額 1,175千円)

(1)『多摩のあゆみ』の刊行

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	186号「疫病退散」(仮題)	自主	5月	新型コロナウイルス感染症は、人びとの心身や暮らしに多大な影響を及ぼしています。歴史を振り返ると、感染症は発生と変異を繰り返してきました。本号では、過去の感染症はどのようなものだったのか、人びとは感染症にどのように向きあってきたのかなど、多摩地域の事例を紹介しします。	2,272
2	187号「武蔵・相模の人形芝居」(仮題)	自主	8月	八王子車人形や秩父、飯能などで、調査報告書がまとまってきています。本号では八王子車人形、川野車人形、糸操り結城座、三芳町竹間沢車人形、相模人形芝居などの各地の人形芝居を紹介します。	2,272
3	188号「多摩の社寺建築」(仮題)	自主	11月	日本古来の木造建築のなかでも、社寺建築はながく建築界の主流を占めて、その構造も和風木構造のなかで最も高度な技術をもつものです。禅宗様建築の代表的遺構で、国宝建造物として名高い正福寺地蔵堂(東村山市)をはじめ、多摩各地の社寺建築を紹介しします。	2,272
4	189号「多摩の動物園」(仮題)	自主	令和5年2月	動物園は親子で楽しめる施設というだけでなく博物館であり、多摩だけでなく全世界的な繁殖ネットワークや研究活動の中でも機能しています。多摩動物公園、羽村動物公園、町田リス園、井之頭自然文化園など、多摩の動物園やそのはたらきを紹介しします。	2,272

(2)歴史資料室の運営

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	歴史資料室の運営	自主	通年	多摩地域の歴史・文化に関する図書、雑誌、地図、絵葉書、写真、チラシ等を収集・公開しします。それぞれの分類表に基づいて整理し、新たに入手した図書と雑誌は歴史資料室の新作コーナーに展示するとともに、『多摩のあゆみ』の「入手資料のごあんない」欄に書誌情報を掲載しします。また、当財団のホームページでも資料の検索ができます。	650

(3)多摩の歴史講座

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	多摩の歴史講座	共催	9月～11月(予定)	(公財)東京市町村自治調査会多摩交流センターとの共催事業で、5回連続の講座を実施しします。 会場：多摩信用金庫府中支店 会議室(予定) 定員：100名(新型コロナウイルス感染拡大状況によっては定員数を減らします。) 受講料：無料	235
2	多摩の歴史講座のオンライン配信	共催	12月(予定)	上記の歴史講座を記録・編集して、インターネットを用いてオンライン配信を検討しします。ホームページで受講者を募集して、名簿を作成し、期間は限定しします。	0

## (4) 地域とのネットワーク強化

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	地域とのネットワーク強化	自主	通年	国文学研究資料館(立川市)をはじめ、東京都立多摩図書館(国分寺市)や東京都公文書館(国分寺市)などとの連携をさらに深め、また市史編さん等への協力を通じて、各市町村とのネットワークを強化していきます。	0
2	資料検索システムの横断検索	自主	通年	NPO法人共同保存図書館・多摩(多摩デポ)と連携・協力して、当財団ホームページ資料検索システムの書誌情報を多摩デポ統合検索に組み込んで、都立図書館や市区町立図書館などと横断して検索できるようになることを目指します。	0

## (5) 多摩金融史関係資料の整理

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	「多摩の金融史」関係資料の整理	自主	通年	『多摩のあゆみ』への「多摩の金融史」の連載は、計19回となりました。コロナ禍で一時中断していた武蔵野支店の地下倉庫に保管されている金庫資料(旧多摩中央信用金庫、旧太平信用金庫、旧八王子信用金庫)の調査・撮影・分析を進めていきます。	100

## (6) 広報・普及活動

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	『多摩のあゆみ』発刊、 「多摩の歴史講座」開催等 告知	自主	通年	『多摩のあゆみ』と歴史資料室の情報を当財団のホームページにおいて公開します。また、「多摩の歴史講座」はホームページと『多摩のあゆみ』及び、共催先の(公財)東京市町村自治調査会ホームページと機関誌『ぐるり39～自治調査会だより～』に告知します。	550
2	歴史資料室所蔵資料の デジタルアーカイブ化	自主	通年	『多摩のあゆみ』に連載中の「赤色立体地図」中の地図画像などを、デジタルアーカイブで公開していきます。	1,128

収益事業

3. 物品販売事業(収1)

(定款第4条第1項第9号)

(予算額 230千円)

(1)物品販売事業

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	
1	物品販売事業	自主	通年	たましん美術館のミュージアムショップでは、オリジナルの絵はがきなどの販売のほか、地域の作家の陶器、染物等、各種雑貨等の委託販売を行います。	<u>230</u>

令和4年度

収支予算書

公益財団法人たましん地域文化財団

令和4年度収支予算書(正味財産増減ベース)

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

公益財団法人たましん地域文化財団

(単位:円)

科 目	令和4年度 予算額(イ)	公益目的事業会計(内訳表)				収益事業等会計		法人会計	令和3年度 予算額(ロ)	増減 (イ)-(ロ)
		公1	公2	共通	小計	収1	小計			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益	4,600,000	0	0	4,600,000	4,600,000	0	0	0	4,600,000	0
基本財産運用益	4,600,000			4,600,000	4,600,000		0		4,600,000	0
特定資産運用益	10,000	0	0	10,000	10,000	0	0	0	10,000	0
特定資産運用益	10,000			10,000	10,000		0		10,000	0
固定資産受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産受贈益	0	0			0	0	0		0	0
事業収益	2,370,000	2,030,000	40,000	0	2,070,000	300,000	300,000	0	4,280,000	△ 1,910,000
入館料収益	2,000,000	2,000,000			2,000,000		0		3,530,000	△ 1,530,000
図録販売収益	30,000	30,000			30,000		0		100,000	△ 70,000
出版事業収益	40,000		40,000		40,000		0		50,000	△ 10,000
物品販売収益	300,000				0	300,000	300,000		600,000	△ 300,000
受取補助金										
受取寄付金	83,880,000	18,500,000	0	61,300,000	79,800,000	190,000	190,000	3,890,000	78,880,000	5,000,000
受取寄付金	83,880,000	18,500,000		61,300,000	79,800,000	190,000	190,000	3,890,000	78,880,000	5,000,000
雑収益	730,000	230,000	450,000	0	680,000	0	0	50,000	780,000	△ 50,000
雑収益	730,000	230,000	450,000	0	680,000		0	50,000	780,000	△ 50,000
<b>経常収益計(A)</b>	<b>91,590,000</b>	<b>20,760,000</b>	<b>490,000</b>	<b>65,910,000</b>	<b>87,160,000</b>	<b>490,000</b>	<b>490,000</b>	<b>3,940,000</b>	<b>88,550,000</b>	<b>3,040,000</b>
(2) 経常費用										
事業費/管理費(法人会計)	98,360,000	60,960,000	31,820,000	0	92,780,000	470,000	470,000	5,110,000	89,280,000	9,080,000
売上原価	110,000	70,000	30,000	0	100,000	10,000	10,000	0	140,000	△ 30,000
役員報酬	500,000	0	0	0	0	0	0	500,000	600,000	△ 100,000
給料手当	26,780,000	16,700,000	10,080,000	0	26,780,000	0	0	0	24,560,000	2,220,000
臨時雇賃金	8,420,000	3,950,000	4,470,000	0	8,420,000	0	0	0	4,180,000	4,240,000
賞与引当金繰入	1,610,000	1,140,000	470,000	0	1,610,000	0	0	0	1,440,000	170,000
退職給付費用	810,000	520,000	290,000	0	810,000	0	0	0	500,000	310,000
法定福利費	4,600,000	2,900,000	1,530,000	0	4,430,000	0	0	170,000	3,990,000	610,000
福利厚生費	180,000	80,000	80,000	0	160,000	0	0	20,000	260,000	△ 80,000
旅費交通費	1,320,000	750,000	520,000	0	1,270,000	0	0	50,000	1,360,000	△ 40,000
通信運搬費	3,010,000	1,070,000	1,540,000	0	2,610,000	5,000	5,000	395,000	3,870,000	△ 860,000
減価償却費	600,000	330,000	0	0	330,000	0	0	270,000	710,000	△ 110,000
支払手数料	170,000	20,000	70,000		90,000	10,000	10,000	70,000	0	170,000
消耗什器備品費	280,000	130,000	150,000	0	280,000	0	0	0	40,000	240,000
消耗品費	1,490,000	1,070,000	230,000	0	1,300,000	10,000	10,000	180,000	1,340,000	150,000
修繕費	60,000	20,000	20,000	0	40,000	0	0	20,000	110,000	△ 50,000
印刷製本費	10,580,000	2,520,000	8,050,000	0	10,570,000	5,000	5,000	5,000	11,060,000	△ 480,000
燃料費	50,000	30,000	10,000	0	40,000	0	0	10,000	60,000	△ 10,000
光熱水料費	1,110,000	820,000	210,000	0	1,030,000	0	0	80,000	1,230,000	△ 120,000
賃借料	21,620,000	20,330,000	300,000	0	20,630,000	200,000	200,000	790,000	20,250,000	1,370,000
保険料	1,140,000	1,040,000	20,000	0	1,060,000	0	0	80,000	1,090,000	50,000
諸謝金	1,060,000	60,000	1,000,000	0	1,060,000	0	0	0	1,000,000	60,000
保守管理費	3,390,000	2,680,000	200,000	0	2,880,000	20,000	20,000	490,000	3,000,000	390,000
会議費	310,000	10,000	50,000	0	60,000	0	0	250,000	510,000	△ 200,000
支払負担金	100,000	100,000	0	0	100,000	0	0	0	100,000	0
図書費	350,000	50,000	300,000	0	350,000	0	0	0	300,000	50,000
委託費	7,260,000	4,110,000	1,990,000	0	6,100,000	0	0	1,160,000	6,360,000	900,000
研修費	200,000	0	0	0	0	0	0	200,000	80,000	120,000
宣伝費	210,000	210,000	0	0	210,000	0	0	0	10,000	200,000
仕入費	210,000	0	0	0	0	210,000	210,000	0	350,000	△ 140,000
諸会費	710,000	250,000	210,000	0	460,000	0	0	250,000	630,000	80,000
交際費	100,000	0	0	0	0	0	0	100,000	100,000	0
租税公課	10,000	0	0	0	0	0	0	10,000	10,000	0
雑費	10,000	0	0	0	0	0	0	10,000	40,000	△ 30,000
<b>経常費用計(B)</b>	<b>98,360,000</b>	<b>60,960,000</b>	<b>31,820,000</b>	<b>0</b>	<b>92,780,000</b>	<b>470,000</b>	<b>470,000</b>	<b>5,110,000</b>	<b>89,280,000</b>	<b>9,080,000</b>
<b>当期経常増減の部(A)-(B)</b>	<b>△ 6,770,000</b>	<b>△ 40,200,000</b>	<b>△ 31,330,000</b>	<b>65,910,000</b>	<b>△ 5,620,000</b>	<b>20,000</b>	<b>20,000</b>	<b>△ 1,170,000</b>	<b>△ 730,000</b>	<b>△ 6,040,000</b>
2. 経常外増減の部	0									0
(1) 経常外収益	0									0
経常外収益計(C)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0									0
経常外費用計(D)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減の部(C)-(D)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>△ 6,770,000</b>	<b>△ 40,200,000</b>	<b>△ 31,330,000</b>	<b>65,910,000</b>	<b>△ 5,620,000</b>	<b>20,000</b>	<b>20,000</b>	<b>△ 1,170,000</b>	<b>△ 730,000</b>	<b>△ 6,040,000</b>
<b>一般正味財産期首残高</b>	<b>40,357,841</b>	<b>△ 301,802,879</b>	<b>△ 288,896,152</b>	<b>627,426,465</b>	<b>36,727,434</b>	<b>839,559</b>	<b>839,559</b>	<b>2,790,848</b>	<b>40,633,287</b>	<b>△ 275,446</b>
<b>一般正味財産期末残高(E)</b>	<b>33,587,841</b>	<b>△ 342,002,879</b>	<b>△ 320,226,152</b>	<b>693,336,465</b>	<b>31,107,434</b>	<b>859,559</b>	<b>859,559</b>	<b>1,620,848</b>	<b>39,903,287</b>	<b>△ 6,315,446</b>
II 指定正味財産増減の部										
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	849,471,936	547,992,646	0	300,000,000	847,992,646	1,479,290	1,479,290	0	849,471,936	0
指定正味財産期末残高(F)	849,471,936	547,992,646	0	300,000,000	847,992,646	1,479,290	1,479,290	0	849,471,936	0
<b>III 正味財産期末残高(E)+(F)</b>	<b>883,059,777</b>	<b>205,989,767</b>	<b>△ 320,226,152</b>	<b>993,336,465</b>	<b>879,100,080</b>	<b>2,338,849</b>	<b>2,338,849</b>	<b>1,620,848</b>	<b>889,375,223</b>	<b>△ 6,315,446</b>